(財)財務会計基準機構会員

平成 21 年 11 月 6 日

各　　位

会 社 名　　日本精鉱株式会社
代表者名　　代表取締役社長　福井　秀明
（コード番号　５７２９　東証第２部）
問合せ先　　取締役経理部長兼企画管理部長
渡邉　繁樹
（TEL　０３－３２３５－００２１）

平成 22 年 3 月期　第 2 四半期累計期間業績予想との差異
および　通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 21 年 5 月 15 日に公表しました第 2 四半期累計期間の業績予想と本日公表の業績数値に下記のとおり差異が生じましたのでお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 5 月 15 日に公表しました平成 22 年 3 月期通期業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

(1)　平成 22 年 3 月期　第 2 四半期累計期間（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）
業績予想との差異

【連　結】　（金額単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	2,200	△140	△140	△90	△7 円 14 銭
今回発表業績(B)	3,085	△74	△61	△386	△30 円 68 銭
増減額　(B)－(A)	885	65	78	△296	
増減率（%）	40.3%	-	-	-	
（ご参考） 前期第 2 四半期実績 （平成 21 年 3 月期第 2 四半期）	4,853	286	285	48	3 円 75 銭

【個　別】　（金額単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	1,300	△115	△135	△85	△6 円 74 銭
今回発表業績(B)	1,661	△241	△245	△502	△39 円 85 銭
増減額　(B)－(A)	361	△126	△110	△417	
増減率（%）	27.8%	-	-	-	
（ご参考） 前期第 2 四半期実績 （平成 21 年 3 月期第 2 四半期）	2,708	88	100	△50	△3 円 93 銭

［差異の理由］
金属粉末事業、アンチモン事業ともに予想を上回る販売数量を確保し、連結売上高は前回（平成21年5月15日）発表の予想より40.3%増加の大幅な増収となりました。しかしながら、利益面においては連結ベースで当初予想より損失額が減少したものの、アンチモン事業において販売価格が予想の水準に達せず、収益性の悪化が見られ、それが連結利益の改善幅を押し下げる結果となりました。また、収益計画を見直し、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産の一部を取崩す事といたしました。その結果、四半期純利益においては、法人税等調整額の増加により、損失額が予想より増加いたしました。

(2)　平成22年3月期（平成21年4月1日～平成22年3月31日）通期業績予想の修正

【連　結】　（金額単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	5,400	130	140	100	7円93銭
今回発表予想(B)	6,600	115	125	△230	△18円25銭
増減額　(B)－(A)	1,200	△15	△15	△330	
増減率（%）	22.2%	△11.5%	△10.7%	-	
（ご参考）前期実績（平成21年3月期）	7,163	△513	△518	△443	△34円52銭

【個　別】　（金額単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	3,400	70	80	50	3円97銭
今回発表予想(B)	3,600	△140	35	△220	△17円46銭
増減額　(B)－(A)	200	△210	△45	△270	
増減率（%）	5.9%	-	△56.3%	-	
（ご参考）前期実績（平成21年3月期）	4,113	△345	△300	△284	△22円10銭

［修正の理由］
金属粉末事業、アンチモン事業ともに予想を上回る販売数量となる見込みとなり、連結売上高は前回（平成21年5月15日）発表の予想より22.2%増加の増収となる見込みです。一方、営業利益、経常利益は、アンチモン事業での落ち込みを金属粉末事業でカバー出来ず、当初見通しに対し若干減少する見込みです。当期純利益においては、繰延税金資産の取崩しが影響し、当初の利益見通しが損失となる見込みです。

以上